

活動報告 全国の環境研究所が集まる発表会で研究成果を発表しました

平成26年12月10日、11日の2日間、兵庫県神戸市で、第41回環境保全・公害防止研究発表会が開催されました。研究所から5人の研究員が参加し、うち2名は発表に加え各テーマに分かれて行う分科会の座長も務めました。この研究発表会は、全国の地方自治体の環境公害関係の試験研究機関で組織する全国環境研協議会と環境省、兵庫県・(公財)ひょうご環境創造協会が主催したもので、各地の試験研究機関が順に開催県となっています。延べ200人以上が参加し、国立環境研究所上席主任研究員の特別講演に続き、2会場に大気、化学物質などの分科会に分かれ、2日間で計50題の研究発表が行われました。

平成27年度は東京都が初めて開催県となります。活発な発表会となるよう準備を進めていきます。

研究員の研究発表	
1	国立環境研究所Ⅱ型共同研究「国内における化審法関連物質の排出源及び動態の解明」の進捗状況について
2	大腸菌測定における疎水性格子付メンブランフィルターの不具合の発見(クロスチェックの有効性と他機関との連携)
3	東京都内における光化学オキシダント高濃度時の大気中VOC成分の挙動
4	東京都におけるPM _{2.5} 高濃度日の特徴(出現頻度とその要因解析)
5	東京都におけるPM _{2.5} 高濃度日の特徴(化学成分組成)



発表会場(パレス神戸)



開会後の特別講演



分科会の座長を務める所研究員



所研究員の発表